



遠野物語のみち(2)

10.2km

遠野市

JR釜石線遠野駅

はじめに

このコースは猿ヶ石川右岸の山裾の道を北上するコースです。史跡が点在し、また遠野物語で語られている場所もあるので見どころは多くあります。そのため、初めて訪れた小生は見落としした所が多くありました。全長10.2kmというロングコースなので後で気づいても徒歩で引き返すのは容易ではありません。その穴を埋めるため後日レンタサイクルを借り再び周遊しました。(調査日2002年3月2日,6月1日)

交通アクセス

起点の愛宕橋へはJR釜石線遠野駅から徒歩,終点の福泉寺へは遠野駅から早池峰バス遠野ふるさと村行きに乗車し福泉寺で下車。

コース案内板の内容

このコースは愛宕橋から諏訪神社、清心尼公碑、阿曾沼公歴代碑、横田城跡、飢饉の碑、松崎観音、妻の神の石碑を経て福泉寺に至る全長10.2kmの歴史探訪の自然歩道です。遠野物語にある遠野三山の一つ六角牛山が遠望でき、眼下には猿ヶ石川が横たう。猿ヶ石川は春は瀬ザッコとりの投網が見られ、夏には鮎の太公望で賑わい、風物詩でもあります。また、阿曾沼時代の遠野郷中心として栄えたところで当時をしのばせる城跡や、石碑祀堂が多くあり田園地と落ち着いた風情を見せています。約3時間の散策コースです。

(起点)愛宕橋 2.0km 清心尼公の墓 0.5km 阿曾沼公歴代碑 0.7km 横田城跡 1.8km 飢饉の碑 3.0km 矢崎 2.1km 福泉寺(終点)

1. 起点 愛宕橋(遠野物語拾遺六四)

JR遠野駅から城下町の雰囲気が残る市街地を通り

抜ける。車道の両側に立ち並んでいた民家が疎らになると最寄りのバス停(早池峰バス遠野営業所前)がある。駅から遠野営業所までは各方面へのバスの経路なので便は頻繁にある。前方右側に起点の愛宕橋が見える。

橋の南側(道路を隔てた反対側)に小公園がある。駐車場とトイレあり。この場所は東北自然歩道・五百羅漢コースの起点にもなっている。愛宕橋は猿ヶ石川に架かる橋で名は近くの愛宕神社に因んでいる。幅は狭く車両の対面通行は困難で対向車がいるときは待機が必要。橋の袂に自然歩道の地図入り案内板が立っている。橋を渡り川の下流(西側)を眺めると風車が2基小高い丘の上に立っているのが見える。この場所は道の駅「遠野風の丘」で観光情報・食堂・売店などの施設である。この道の駅近くに寒風という集落がある。その名のとおり西側から冷たい風が吹いてくる。先ほどまで日が照りいい陽気を期待していたのだから天気が急変した。その後は寒さに耐えながら雪が舞う中を歩く。

水田の中の未舗装道を横断する。近くの湿田では白鳥が数十羽えさを探していた。国道286号線に突き当たり右折する。500m程進むと国道の右手(東側)に角花展望台がある。眼下で合流する猿ヶ石川と早瀬川、遠野市街地、そして遠野三山の一つ六角牛山



写真1 愛宕橋

の展望がよい。その先、国道は大きく右にカーブし猿ヶ石川を越え市街地に向かうが、自然歩道はここで国道と分かれ道標に従い松崎・附馬牛方面に入る。なお、自然歩道とほぼ同じルートでサイクリングロードの道標も立っており距離表示も明瞭である。

2. 清心尼公の墓

道路西側の畑の斜面を上り右折する。左に顕彰碑、右に墓跡がある。

清心尼は慶長十九(一六一四)年、二十九歳の時、八戸(遠野)南部家の殿様となる。封建時代としては異例の女の殿様であった。清心尼の治世は、政務の密閉性を防ぎ政務が正しく行われた。それを顕彰し、「清心尼」という名前で呼ばれている。正保元(一六四四)年、五十九歳で死んだ清心尼の亡骸は遠野松崎町光興寺にあった大慈寺に葬られたが、大慈寺の移転とともに改葬され、現在は墓跡と顕彰碑が往事を忍ばせている。



写真2 清心尼顕彰碑(左)と墓跡(右)

3. 太郎カッパ(遠野物語五五)

「川には川童多く住めり。猿ヶ石川殊に多し。」猿ヶ石川右岸の太郎淵に棲む太郎カッパもその一つであろう。洗濯・水仕事の女性に悪さをしたと言われる。一帯は小公園として整備されている。駐車場あり。

4. 阿曾沼公歴代碑

太郎カッパの道路を隔てた反対側(西側)にある。阿曾沼氏は遠野の最初の統治者。源頼朝から平泉征討の恩賞で1189年遠野十二郷を領す。家康の上杉景勝攻めに出陣した留守中に家臣の謀反にあい400年の政権が亡びた。中央の五輪塔は泥田のなかから出土とのこと。



写真3 阿曾沼公歴代碑

5. 村兵稲荷

阿曾沼公歴代碑から西側の丘陵地に上る。周囲は遠野名産のリンゴ畑であり収穫期には直売もしているようだ。村兵稲荷は遠野南部郷の御用商人村上家、村井家が建立。本尊は京都で作られた秘仏で稲と鎌をもった金箔の翁像である。この地に稲荷を祀った理由は、阿曾沼氏ゆかりの金ヶ沢という産金伝説があったからとのこと。



写真4 村兵稲荷

6. 横田城跡

道標から左(西)の小径に入る。30mほど進み右手



写真5 横田城跡に建つ薬師堂

を流れる用水路を渡る。用水路に沿って上流に向かうと道標がありそこから右手の急斜面を上る。5分位で勾配が緩やかになるがまだ雪が残っていた。途中で道は左にカーブする。その先に城跡に建つ薬師堂が見える。遠野郷の領主・阿曾沼氏の居城跡である。

7. サムトの婆（遠野物語八）

本自然歩道のコースには含まれていないが近くにあるので立ち寄った。遠野物語の中で最も奇怪な一節なので有名である。登戸橋の西詰・猿ヶ石側下流に標柱が立っている。標柱には以下が記載されていた。

- ・ 実際にあった話
- ・ 山に入ったのは明治維新前後
- ・ 六角牛山の主にひきよせられてのことと言われている

単なる怪奇談ではなく「実際にあった」と書いてありなおさら怖ろしい。



写真6 サムトの婆の碑と六角牛山

8. 飢饉の碑

道路西側。宝暦5～6年(1755江戸時代)の飢饉で人口の1/3(約4300人)が餓死。供養のため建立された。



写真7 飢饉の碑

9. 松崎観音（遠野物語初版序文）

水車・トイレ・駐車場がある場所から山側の石段を上ると観音堂に着く。松崎観音は遠野七観音二番目の札所。遠野七観音は慈覚大師が1本のカツラの木から七体の観音像を刻み七つの村に安置したと伝えられている。宝暦ごろ(1751～63)から白衣姿で鉦をならし七観音和讃をとえながらそれらをたどる巡礼が列をなしたという。観音堂の板壁に堂内に安置されている観音様の写真パネルが掛けてあった。堂内は通常公開されていないと思うのでパネル展示は好ましく思う。

観音堂の右側には高さ3メートルほどの石碑がある。天文6年(1537)の銘があるとのこと。この石碑は遠野市内最古、御影石の石碑としては県内最古である。



写真8 松崎観音

10. 母也明神（遠野物語拾遺二八）

矢崎集落の最も南端の民家の南側に案内板が立っている。車道の左側(西)、畑の奥にあるので注意。案内板の右手に山に登る細道がある。木の杭とロープが張られていて最近地元の方が整備したとのこと。三月に訪れたとき、この細道は雪で埋もれていたため到達できなかった。藪をかき分けひと上りすると祠が建っていた。祠の右後に巫女塚参道と書かれた



写真9 母也明神

道標がある。その先に進んでみるが林道と交錯し道は不明瞭となったので引き返した。巫女塚とは巫女の墓の意味。ポナリは巫女を意味する古代語。矢崎堰は大同年間(806-809)に造られたと伝えられる。物語は単なるおとぎ話ではなく歴史的事実も伝えている。柳田氏の表現のうまさもあるがこの点が遠野物語の魅力だと思う。

11. 妻の神石碑群(遠野物語九八・遠野物語拾遺四二)

矢崎集落の中を抜ける。矢崎バス停で右折し猿ヶ石川に架かる駒木橋を渡る。道標に従い左折・右折すると県道160号との交差点にでる。この交差点の南東角に石碑群がある(北東角に駒木バス停がある)。

石碑には「六峯山」「早池峰山」などと刻まれている。これらは道路を守り悪気邪神をさえぎる神。道祖神。村境、峠、辻などにあって外から入ってくる悪霊を防ぐ。生者と死者人間界と幽冥界の境をつかさどる神とも言われる。



写真10 妻の神の石碑

12. 福泉寺(遠野物語拾遺八四)

大正元年開基の真言宗のお寺。寺院の敷地は東側の山の斜面一帯で広大である。五重塔をはじめとする御堂群を散策しながら拝観できるようになっている。木彫りとしては日本最大の観音像が安置されていることで知られる。全てを見て回るには1~2時間を要するだろう(入門料¥300)。小生が訪れたときはまだ積雪があり寒さを堪えきれないので西門から参道を歩き仁王門・山門まで歩いたのみ。五重塔は遠くからでも見えた。尚、福泉寺から遠野駅まで1時間に1本の間隔でバスの便がある。



写真11 福泉寺仁王門

13. 終点

福泉寺山門前の広い駐車場の一角に自然歩道の地図入り案内板とトイレがある。さらに車道を南へ300m進むと自然歩道の終点を示す標柱が立っている。



写真12 終点の道標

参考文献

- 1 遠野マップ 遠野市観光協会 市街地から郊外まで観光地を網羅。遠野観光の必需品。
- 2 駅からハイキング・里山の自然と河童伝説のみちコース 遠野駅で入手。清心尼公の碑から松崎観音まで自然歩道と同一コースをたどる。
- 3 遠野物語 柳田国男(新潮文庫)
- 4 遠野物語・付遠野物語拾遺 柳田国男(角川文庫)
- 5 黄昏綺譚 高橋克彦(角川文庫)河童・ザシキワラシ・サムの婆について作者の見解が参考になった。
- 6 岩手日報ホームページ 清心尼公に関する記事

< 完 >

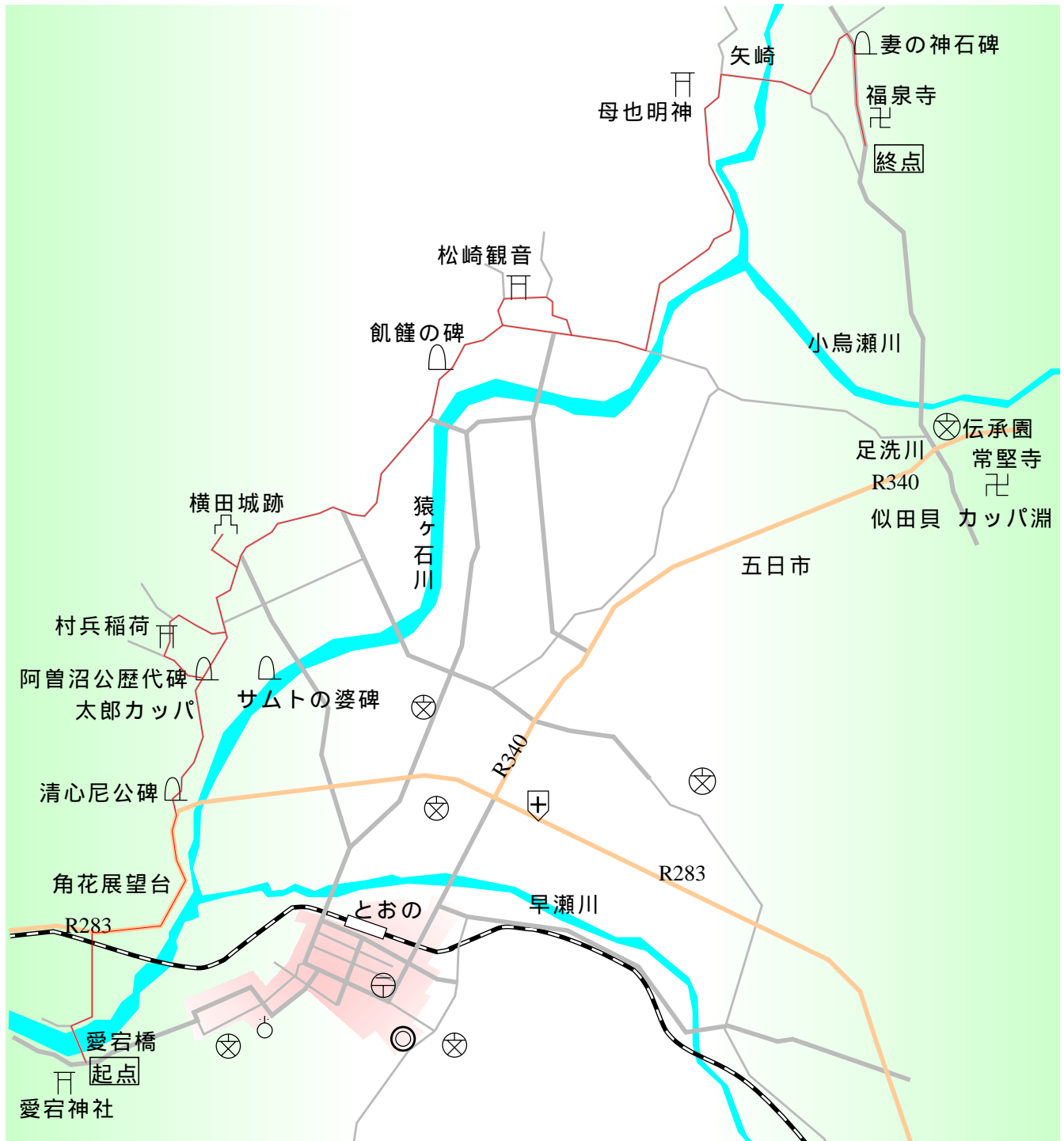


図1 コース略図

(起点) 愛宕橋 2.0km 清心尼公の墓 0.5km 阿曾沼公歴代碑 0.7km 横田城跡 1.8km 飢饉の碑
3.0km 矢崎 2.1km 福泉寺(終点)